

発行日:2017/1/30



本誌は、カタログ掲載の青果について、2017/1/26(木)午前中までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況	
果 実	いちご	品目で検査済	たまつくり・とちのみ・はが野・うつのみや・佐原・海上・遠州
	伊予柑	品目で検査済	南伊豆
	キウイ	品目で検査済	有機農法ギルド・小田原・やはた会
	不知火	品目で検査済	久望
	はるみ	品目で検査済	小田原・久望
	りんご	品目で検査済	八峰園・ゴールド農園・雄勝・さみず
果 菜	きゅうり	品目で検査済	茨城・村悟空・佐原・サンド旭・和郷
		果菜類で検査済	野菜くらぶ
	スナッペンとうもろこし	品目で検査済	南伊豆
	トマト	品目で検査済	うつのみや・野菜くらぶ
		果菜類で検査済	谷田部・茨城・元気会・沃土・村悟空・佐原
	ミニトマト	品目で検査済	茨城・あゆみの会・元気会・サンド旭
果菜類で検査済		野菜くらぶ・沃土・村悟空・和郷	
葉 菜	アスパラ	品目で検査済	利根沼田
		葉菜類で検査済	うつのみや
		検査予定	さがえ西村山
	大葉	品目で査済	和郷
	キャベツ	品目で検査済	海上・三浦EM・遠州
		葉菜類で検査済	あいづ・野菜くらぶ・沃土・村悟空・佐原・和郷・南伊豆
	小松菜	品目で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・野菜くらぶ・群馬モグラ・沃土・南埼玉・佐原・八街・風土の会
		葉菜類で検査済	たまつくり・和郷
	サニーレタス	葉菜類で検査済	谷田部・茨城・常総産直・野菜くらぶ・沃土・海上・八街・和郷・風土の会
	春菊	品目で検査済	夢みなみ
		葉菜類で検査済	たまつくり・レインボー・あゆみの会・うつのみや・沃土・村悟空・佐原・サンド旭・和郷
	セロリ	品目で検査済	とびあ浜松
	たらの芽	品目で検査済	丸公
	チンゲン菜	品目で検査済	こまち
		葉菜類で検査済	あゆみの会・沃土・和郷・遠州
	菜の花	品目で検査済	小田原
		葉菜類で検査済	南伊豆
	にら	品目で検査済	元気会
		葉菜類で検査済	茨城・和郷
	ねぎ	品目で検査済	常総・南埼玉
		葉菜類で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・たまつくり・やさと・利根川・沃土・村悟空・佐原・八街・風土の会
	白菜	葉菜類で検査済	谷田部・茨城・常総産直・八街
	ブロッコリー	品目で検査済	谷田部・茨城・野菜くらぶ・沃土・南埼玉・村悟空・海上・佐原・和郷
	プチヴェール	品目で検査済	庄内たがわ
ベビーリーフ	品目で検査済	フェニクス・レインボー	
ほうれん草	品目で検査済	草の会	
	葉菜類で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・たまつくり・やさと・常総産直・うつのみや・利根川・野菜くらぶ・沃土・佐原・八街・和郷・風土の会	

分類	品目名	放射能検査の状況	
葉 菜	みず菜	品目で検査済	ふきのとう
		葉菜類で検査済	谷田部・茨城・佐原
	ルッコラ	葉菜類で検査済	茨城・沃土・南埼玉・和郷
	レタス	品目で検査済	野菜くらぶ
		葉菜類で検査済	常総産直・沃土・海上・佐原 サンド旭
若芽ひじき	品目で検査済	寺島	
根 菜	かぶ	品目で検査済	谷田部・たまつくり・佐原
		根菜類で検査済	沃土・海上・八街・和郷
	ごぼう	品目で検査済	茨城・清瀬
		根菜類で検査済	常総・谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・やさと・佐原・和郷・風土の会
	さつまいも	品目で検査済	谷田部・佐原・和郷
		根菜類で検査済	常総・茨城・たまつくり
	里芋	品目で検査済	茨城・あゆみの会・佐原・八街
		根菜類で検査済	常総・谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・風土の会
	しょうが	根菜類で検査済	村悟空・和郷
	大根	品目で検査済	沃土・海上・佐原・和郷・三浦EM
		根菜類で検査済	谷田部・たまつくり・村悟空・風土の会
	長芋	根菜類で検査済	常総・谷田部・茨城・有機農法ギルド
	人参	品目で検査済	常総・あゆみの会・和郷・清瀬
		根菜類で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・たまつくり・常総産直・やさと・沃土・村悟空・海上・佐原・農法の会・八街・風土の会
	にんにく	品目で検査済	八峰園・田子
ほしいも	品目で検査済	常陸	
れんこん	品目で検査済	常総・たまつくり・新ひたち野・あゆみの会・佐原	

●2016 年産米の検査

検査対象の産直産地のお米の検査を玄米で行い、
検査は全産地終了しました。
2016 年産の下記の産地・銘柄は、
すべて不検出です。

青森県: JA津軽みらいの青森つがるロマン
岩手県: JAいわて花巻の岩手ひとめぼれ、JA新しいわての岩手いわてっこ
宮城県: JAみどりのの宮城ひとめぼれ
秋田県: JAこまちの秋田あきたこまち・オーリア 21 の秋田あきたこまち・花咲農園の秋田あきたこまち・JA秋田ふるさとの秋田あきたこまち、JAかづのの秋田淡雪こまち
山形県: JA庄内たがわの山形はえぬき、JA山形おきたまの山形ササニシキ、庄内協同ファームの山形つや姫
福島県: JA会津よつばの会津こしひかり
新潟県: JA 北蒲みなみの新潟こしひかり・JA ささかみの新潟こしいぶき・JAにいがた南蒲の新潟こしひかり・JA 魚沼みなみの魚沼こしひかり・JA えちご上越の新潟こしひかり・謙信の郷の新潟こしひかり・JA 佐渡の佐渡こしひかり
茨城県: JAつくば市谷田部の茨城こしひかり
栃木県: 日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(19 検体中 17 検体不検出 2 検体は白米で検査を行い不検出)
千葉県: JA君津市の千葉ふさおとめ・ちば緑耕舎の千葉こしひかり
埼玉県: 南埼玉産直ネットワークの彩のかがやき
長野県: JA佐久浅間の長野こしひかり

放射能は玄米のぬかにたまる傾向があります。玄米で検査後、供給は白米および玄米で行います。

●きのこ類

放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況	
えのき茸	品目で検査済	飯山
エリンギ	品目で検査済	小川きのこ・南伊豆・渡辺きのこ
生きくらげ	品目で検査済	きのこ総研
なめこ	品目で検査済	谷田部
まいたけ	品目で検査済	雪国
谷田部の若手生産者きのこセツト	品目で検査済	谷田部 *しいたけ・しめじから放射能が 検出されました

●青果以外の牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。

* 酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2017/1/25	8.7
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
谷田部の若手生産者きのこ セットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
しめじ(ひらたけ)	谷田部	2016/12/14	3.0
谷田部の若手生産者きの こセットのしめじ			
ぶなしめじ			
パルシステムの独自ガイドライン			
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
コアフード*栃木こしひかり(玄米)	日本の稲 作を守る会	2016/10/21	3.9
パルシステムの独自ガイドライン			10
政府の基準値			100

* 白米では不検出でした

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコト 250 きなり 297 きなりセレクト 341088	豚のチンジャオロロー スセットのしいたけ	2017/1/11	5.3
コトコト 257 きなり 305 きなりセレクト 341100	手間いらずの簡単！ 寄せ鍋セットのしいた け		
パルスシステムの独自ガイドライン			
政府の基準値			100

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果 菜	果 菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉 菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・茎菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根 菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

●青果の検査について

- * 北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県以東の本州17都県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。
- * 旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになりますが、それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。
- * 検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。

***yumyum 果物セットにセッされている果物は、検出下限値1Bq/kgで検査を行っています。**

放射能基礎知識

忘れがちな、放射能の基礎知識を数回にわたり、お知らせいたします。

被ばくとは その9

- 6年目を迎える

現在、多くの自治体では、放射線の計測や除染を行っていません。ほぼ低い値となっているとして、食品の計測自体も、給食の計測の予算が計上されなくなり、計測中止するようなことが起こっています。

一部の地域では、市民活動をしている有志で計測を継続してインターネットで公園の放射線量を公開していたり、ホットスポットファインダーで通学路の放射線を監視する活動をしている団体もあります(福島の各地域も含めて)。

低線量の放射線のリスクについては、ほとんど知見がなく、しきい値のないという観点では、少なればリスクも少ないので気にしなくても大丈夫ではないかという雰囲気が強くなってきています。

また、福島では 20msv/年で避難解除となり、帰還がすすめられています。ICRPが推奨する一般公衆衛生の年 1msv よりも大きな基準であり、外部被ばく、内部被ばくに対しての知識や対応がより求められる状況です。

- 参考になる書物のご紹介

- 「あの日からのお母さんのしごと ～わが子を放射能から守る知恵と工夫～」 ワニプラス 著者:境野米子氏
チェルノブイリを参考にした放射能対策のレシピを掲載。
免疫力を高める食、放射能を排出しやすくする食について、母親目線で書いてあります。
何から手をつけていいのかわからない場合にお勧めです。
- 「原発・放射能子どもが危ない」 文春新書 著者:小出裕章氏、黒部信一氏
全般的に放射能の問題をわかりやすく知ることができる一冊です。今まで放射能に関心のなかった人でも読み進めやすく、放射能から健康問題まで平易に書いてあります。
Q&Aがあり、多くの人が疑問に思うことについてのコメントが記載されています。
- 「放射線被曝の争点」 緑風出版 著者:渡辺悦司氏、遠藤順子氏、山田耕作氏
ー福島原発事故の健康被害はないのかー
放射能は、ガンを誘発する。それ以上の問題について、多くの示唆にとむ研究を引用して、論理展開を行っています。
放射線のリスクに関する最近の研究結果を参照しますと、クラスター損傷、逆線量率効果、フリーラジカルと活性酸素、酸化ストレス、免疫異常ほかについての記述があります。
被ばくについて、真正面から対応していくためには放射能の健康被害をよく知る必要があります、この 1冊は非常に示唆に富んでいます。
- 「水圏の放射能汚染」 恒星社厚生閣 著者:黒倉寿氏編
ー福島の水産業復興をめざしてー
海水への原発の直接漏洩シミュレーション数値や魚介類への移行係数などについての記述があります。水産についての専門的な研究論文で構成されています。
今後、汚染水をどのように考えていくべきなのか知るための知識があります。

行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第 1015)」(2016/9/9～2017/1/4 で採取・購入された検体検査)より国の定めた基準値セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体の上位数点です。
原木シイタケ:茨城県常陸太田市・鉾田市ほか 3.5～45Bq/kg
ワカサギ:群馬県前橋市(赤城大沼)ほか 15～46Bq/kg
シカ肉:岩手県一関市・葛巻町ほか 4.9～93Bq/kg
- 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体の上位数点です。
ブロッコリー:福島県富岡町・大熊町 5.9～22Bq/kg
原木シイタケ:福島県下郷町 21Bq/kg

* 採取禁止地域より採取されたコシアブラが道の駅で販売され、回収される事例がありました。
計測されていない、または、計測結果を公開していない食品および、天然の川魚やジビエ、山菜、きのこ類などに注意をしてください。

1月の放射能検査状況

1月20日までの検査で、しいたけから、生しいたけ(原木栽培)が2件(8.0、11Bq/kg)、お料理セットのしいたけが1件(5.3Bq/kg)から検出がありました。その他のからの検出はありません。

乳幼児用食品は、検出下限値を4月から1Bq/kg に下げましたが、現在まですべて不検出です。

検出された商品は、すべて自主基準以内の検出でした。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	1月	1月の検出内容		1月
青果	17 (0)		卵	29 (0)
しいたけ	6 (3)	原木しいたけ 8.0, 11Bq/kg お料理セットのしいたけ 5.3Bq/kg	魚介類	12 (0)
その他のきのこ類	4 (0)		飲料水・飲料	10 (0)
米・米飯類	0 (0)		乳幼児用食品	13 (0)
牛乳・乳製品	8 (0)		その他加工食品	180 (0)
肉類	1 (0)		合計	280 (3)

2016年度の放射能検査の状況(2016年4月～2017年1月)

青果	2016年5月に小田原のバレンシアオレンジの3件中1件から3.2Bq/kg が検出されました。2016年1月に小田原の伊予柑から5.3Bq/kg、2016年2月に小田原のはっさくから4.8Bq/kg が検出されました。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけが(3.1～12Bq/kg)、しめじ(ひらたけ)が(3.0～3.5Bq/kg)、ぶなしめじが(3.1Bq/kg)で、放射能が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2016年産米の検査は26産地67検体の検査を行いました。 日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(玄米)を検査したところ、2件(3.9、4.1Bq/kg)の検出がありました。検出された産地の米は、白米で検査を行い不検出でした。 米の検査は全産地終了しました。 * 放射能はぬか部分に多く蓄積します。検出されました栃木こしひかりは、不検出が確認されました白米でのお届けとなります。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値 1Bq/kg で検査を行い、すべて不検出です。
その他加工食品	<お料理セット> 肉・豆腐などは定期的に検査を行っています。野菜のみを毎月検査を別途行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮(3.4～11Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。
	<大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、2014年産および2015年産原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものとがありますが、放射能は検出されていません。
	<その他> 2016年11月にサプリメントのブルーベリー&ルテイン(6.5Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。

パルシステムの放射能検査について

●独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行ないます。

自主基準(独自ガイドライン) (セシウム 134,137 の合計)			国の規格基準
2014 年 10 月より現行基準	現	旧	
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳児用食品、牛乳 50
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、 その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50	一般食品 100
しいたけ	100	100	

* 乾燥食品は生原料や摂食状態で検査します。(単位 Bq/kg)
乳幼児用食品は「Yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。

検出限界(セシウム 134,137 それぞれ)		
2016年4月1日から新基準に変更		旧
乳幼児用食品	1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	

●放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以东の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物